

小児科専門研修プログラム

地域に根ざし、世界に通用する小児医学の提供を目指して

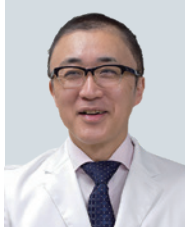
募集定員
7名

研修期間
3年



責任者からのメッセージ

小児科
教授 盛武 浩



「なぜ小児科を選んだのですか？」とよく質問を受けます。私の場合、“小児医療は「曙の医学」である”と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。

共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構宮崎病院の5つの病院で研修することで、予防接種や健診を含む一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。それぞれの病院で異なるタイプの医療を必要とする診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、宮崎大学医学部附属病院には宮崎県下の症例が集約されており、各診療グループでの専門診療を行っています。グループ間の垣根がなく、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし、1人の患者さんについて複数のグループで協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他13名	小児医としてヒトの成長と発達をままもり援助するという心構え確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構宮崎病院		
特別連携施設	独立行政法人国立病院機構都城医療センター、独立行政法人国立病院機構宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛泉会日南病院、小林市立市民病院、高千穂町立国民健康保険病院、京都府立医科大学、京都市立病院		

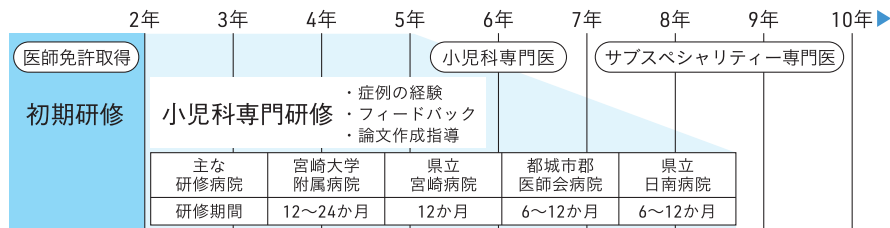
取得可能な専門医資格および技能

3年間の研修によって、小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得することができます。また、地域の一般病院の研修では、予防接種や検診について、各種専門領域の研修では、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、腎泌尿器超

音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査および所見の評価などを学ぶことができます。
3年間の研修の後、小児科専門医を取得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。



プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。宮崎大学医学部附属病院で研修を開始し、小児科の基本的な考え方や手技、感染免疫・内分泌代謝・血液腫瘍・腎泌尿器・循環器・神経筋・新生

児医療などの各専門領域の研修を行い、2年目以降は各関連病院で小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療を6か月間から1年間それぞれ担当医として研修します。3年間を通じ外来での乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患などすべての領域を研修します。

主要症例と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の感染症はもちろん、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は以下の通りです。

血液・腫瘍領域
神経・筋領域
循環器領域

腎・泌尿器領域

免疫・膠原病領域
内分泌・代謝領域

白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)など
てんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など
心室中隔欠損症(50人)、心房中隔欠損症(20人)、複雑心疾患(30人)、不整脈(20人)など
ネフローゼ症候群(30人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(10人)、先天性腎尿路異常(40人)など
免疫不全症(2人)、膠原病(5人)など
低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時 間	月	火	水	木	金	土・日
7:45～ 8:15			受持患者情報の把握			
8:15～ 9:00	抄読会・研究会報告	入退院・カンファレンス	ミニレクチャー	症例検討会	入退院・カンファレンス	週末日直 (2/月)
8:30～ 9:00	グループカンファレンス グループ回診					
9:00～12:00	病 棟	病 棟	病 棟・外 来	病 棟・外 来	病 棟	
12:00～13:00					薬理セミナー（不定期）	
17:00～17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表（隔週）	病棟 学生・初期研修医の指導	合同勉強会 (年 3 回)
17:30～19:00	患者申し送り					
13:00～17:00		リサーチミーティング（隔週）			ふりかえり (1/月)	

※ 小児泌尿器合同カンファ(1/月)、循環器外科合同カンファ(1～2/月)を月曜日に開催

指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

当教室は、2017年に新たに盛武先生が教授に就任し、若い医局員とともに宮崎の小児医療の発展と充実のために日々頑張っています。専攻医に対しては、中堅医師が直接指導を行います。各専門分野に関してはそれぞれのサブスペシャティーの専門医・指導医とともに診断・治療を行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



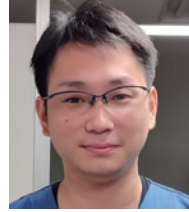
落合 佳代

進路を悩んでいる先生も多いと思いますが、私も最後の最後まで何科に進むか迷いました。でも、小児科の先生方の「子ども達を助けたい!」とみんなのでー丸となって頑張っている姿に心打たれ、自分もその一員になりたいと思い小児科に進むことを決めました。そして、その決断は間違っていないかと思っています。大変なことや辛いこともありますが、回診の度にかわいい子どもたちに癒され、毎日頑張れています!後悔したことは一度もありません!小児科は、指導医のサポートも充実しており、先生達との距離がとても近いので、悩んだ時にはすぐに相談できる先生方がたくさんいます。私でもなんとかやれているので、きっと大丈夫です!みなさんと一緒に働ける日を心待ちにしています!



助教 山下 尚人

学生時代から小児循環器に興味を持っていました。小児科専門医を取得した後に福岡市立こども病院循環器科に国内留学し1年間の専門研修を行い、現在の専門は小児循環器です。小児科医はGeneralistかつSpecialistであり、やりがいの幅がとても広い科だと思います。小児循環器医は少しせっかちな人が多いですが、小児科医はこども相手のプロです。ので、優しく温かな人が多いです。小児科に興味がある方もそうでない方も優しく対応してくれると思いますので気軽にご相談ください。



横山 亮平

宮崎出身で小児科志望であったため、宮崎大学小児科専門プログラムでの研修を希望しました。小児科で働き始めて間もないですが、盛武教授や指導医の先生方の温かく、時に熱いご指導により充実した日々を過ごせています。小児科は子どもの命に関わる難しさはありますが、子どもたちの成長に立ちあえて、それと同時に自分も成長できる素晴らしい分野だと思います。特に宮崎では土地柄もあってか、子どもたちもそのご両親も穏やかな方が多く、小児科医としての一歩を踏み出すのにとっても良い環境だと思います。是非一緒に宮崎の小児科を盛り上げましょう。

お問い合わせ先

担当：此元 隆雄

T E L : 0985-85-0989

F A X : 0985-85-2403

e-mail : konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

小児科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/



皮膚科専門研修プログラム

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

募集定員
4名

研修期間
5年



責任者からのメッセージ

皮膚科
教授 天野 正宏



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や

皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ（臨床）とミクロ（皮膚病理）を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均120人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたる。入院患者は重傷薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができます。また年間手術件数は200件を超え、内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができます。皮膚科研究の面では南九州に多い成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)など、地域に貢献できる研究成果を創出している。

取得可能な専門医資格および技能

機構認定皮膚科専門医

日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導医

日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

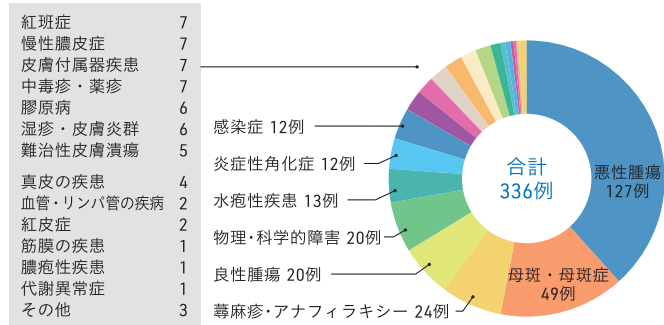
プログラム達成目標

外来では教授の外来診察に陪席し外来診察・皮膚科的検査・治療を経験する。病棟では病棟医長の元、構成された診療チームにて、指導医の元受け持ち患者の診察・検査・外用療法・手術手技を習得する。カンファレンス：受持ち患者の症例発表、病理カンファレンスにおいては担当症例の発表を行う。抄読会では英文論文を紹介する。日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に2回以上筆頭演者として学会発表を行う。年に1編以上筆頭筆者で論文を作成する。

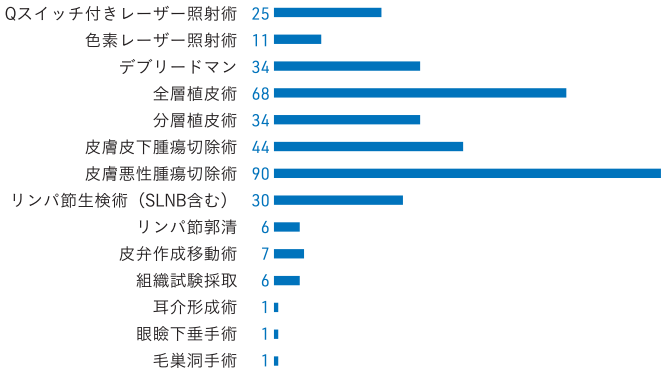
主要症例と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の感染症はもちろん、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は以下の通りです。

○ 入院患者の疾病別分布



○ 平成30年度手術室での手術件数351例



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

外来では、水曜日・金曜日に診察医に陪席し、外来診察・皮膚科的検査・治療を経験する。病棟では、専攻医は指導医のもと担当患者の診察・検査・外用療法・手術手技を習得する。月曜日は回診・病棟及び外来患者さんのカンファレンス・病理カンファレンス・抄読会等行う。

水曜日・木曜日は終日、手術室にて全身麻酔の手術・レーザー治療などを指導医の下で習得する。また、担当患者さんが手術症例でなかった場合は、指導医の下、病棟患者さんの検査・処置等を行う。

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	外 来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	病棟、回診

専門医取得までのタイムスケジュール

基 幹：研修基幹施設での研修(最低1年必要)

連 携：研修連携施設での研修(最低1年必要)

⇒県立宮崎病院・古賀総合病院(宮崎市)、
県立延岡病院(延岡市)、千代田病院(日向市)

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間(制限無し)

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目
A 基本コース	基 幹	基 幹	連 携	連 携	基 幹
B 連携施設中心コース	基 幹	連 携	連 携	連 携	基 幹
C 社会人大学院コース	基 幹	基 幹 (社会人大学院)	連 携 (社会人大学院)	基 幹 (社会人大学院)	基 幹 (社会人大学院)
D 大学院在学中に 受験するコース	基 幹	連 携	大学院 (研究)	大学院 (研究)	大学院 (研究)



※産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。

※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※大学院として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限度に研修期間と認められます。

指導医からのメッセージ



医局長 根本 利恵子

宮崎大学は県内全般より重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者が紹介されてきます。外科疾患・内科疾患・救急疾患に精通した経験豊富な指導医の元、幅広く疾患を学ぶことができます。国内外を問わず学会発表の機会も多く与えられます。個々の個性に合わせ柔軟な研修プログラムを考えそれぞれの個性を生かした皮膚科専門医育成に励んでおります。基本的に男女平等ですが、男女問わず育児の都合にも柔軟に対応し医局全体で協力しながら診療や研究を行うことを目標にしています。当教室に興味を持たれた方がいましたらご連絡をお待ちしております。

先輩からのメッセージ



西川 陽太郎

治療の経過が直接見て実感できる点が皮膚科の良いところではないかと感じます。皮疹と病理組織像、マクロとミクロの世界から病態を考え、治療計画を練るそんな皮膚科の奥深さに触れたばかりですが、充実した日々をすごしています。決して大きな医局ではありませんが、その分みんな協力しあって診療を行える、やりたいと強く思うことがあれば医局を通じて応援してもらえる、宮崎大学の皮膚科はそんな場所です。これからの宮崎の医療の発展の為にともに学んでいける方をお待ちしております。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2967

F A X : 0985-85-6597

担 当：根本 利恵子

e-mail : derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/>



募集定員
10名

研修期間
3年

連携施設名等

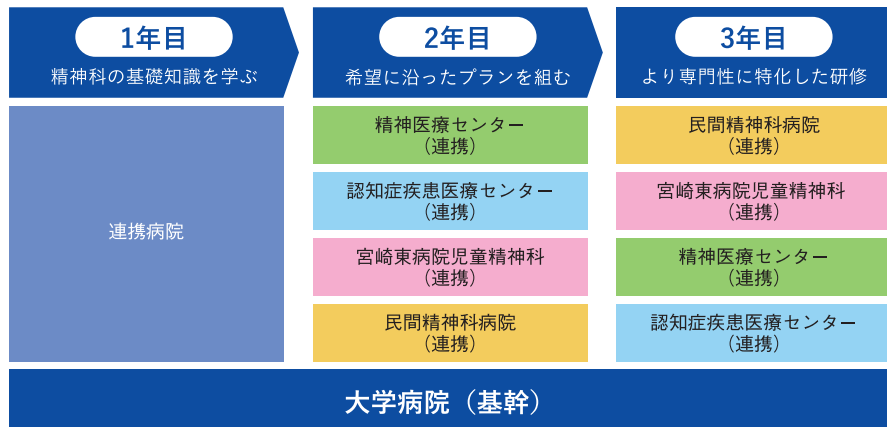
	施設名	指導医	専門分野・特徴
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	石田 康 教授、他4名	統合失調症、気分障害、神経症性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連 携 施 設	県立宮崎病院、宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、国見ヶ丘病院、県南病院、鯉島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、藤元病院、吉田病院、延岡保養園、若草病院		

取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、日本老年精神医学会認定専門医、日本児童青年精神医学会認定医、日本緩和医療学会専門医などが取得できます。

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は基本的には大学病院で基本的な精神疾患を身体的・器質的疾患の除外や論理的考察を元に経験します。2年目以降は各自の希望に沿ったプランを組むことも可能です。精神保健指定医の症例も3年間で十分経験することができます。また、この時期に学会発表や論文作成の指導を受け、研究に興味を持つ医師は臨床経験に併行して博士課程で博士取得に向けた研究を行うことも可能です。



責任者からのメッセージ

精神科
教授 石田 康



精神科で専門医を目指すことによって得られる成果は、単に精神科専門医というライセンスだけではなく、脳科学者あるいは地域医療

の担い手になる他、様々な可能性を手に入れることに繋がります。認知症や発達障害の当事者や関係者へのサポートはもちろん、薬物依存や犯罪・司法精神医学、新たな感染症を含む災害精神医学その他、現代あるいは今後社会に求められているのは精神科の専門医です。生きる醍醐味を享受しつつ、一緒に精神科の専門医を目指しましょう。

プログラムの特徴

宮崎県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムとなっています。基幹施設である宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質症状性精神障害、緩和ケアなど学ぶことができます。宮崎県立宮崎病院精神医療センター、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートしながら研鑽を積み、臨床精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を取得することが可能です。また、精神科専門医を目指して臨床経験を積みながら、大学院に進学し博士号を取得することも可能です。

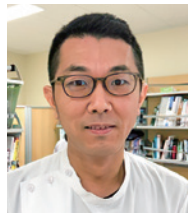
プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、コンサルテーション・リエゾン精神医学を経験する。症例カンファレンス、セミナーに参加し、学会や研究会等で発表する。2年目は指導医の指導を受けつつ面接手技を学び、診断と治療計画の能力を充実させる。薬物療法の知識を深め、精神療法の基本的考え方を学ぶ。また、症例報告など論文執筆の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 救急・病棟回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診
PM	病棟業務 病棟行事 入退院 カンファレンス	病棟業務 病棟行事 リエゾン カンファレンス	病棟業務 集団精神療法 リエゾン カンファレンス	病棟業務 SST 緩和ケア カンファレンス	病棟業務 抄読会・研究発表会 病棟 カンファレンス

指導医からのメッセージ

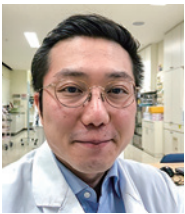


助教 大平 洋明

精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただき有難うございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合って対応しています。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だらけです。もちろん、子育て中の医師もあり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



助教 香田 将英



これまで、病棟主治医をメインに、外来や救急、リエゾン、緩和ケアなど日々従事してきました。週に1回の関連病院への外勤もあり、様々な角度から精神医療の研鑽を重ねています。医局は、私のように他大学出身のスタッフも多く、アットホームな雰囲気大きな魅力の一つだと思います。精神科は、診断して、治療して、おしまい、という単純明快なものでもありません。身体医学では学べない、人間の心理や社会に視点を置く点で特徴的です。「人間とはどのような生き物なのか」「何が正常で、何が異常なのか」といった内容に興味がある人、「その人の生きづらさに一緒に向き合っていきたい」という人は、ぜひ精神科も選択肢としていかがでしょうか。

先輩からのメッセージ

医員 上野 鷹司郎

「医者は年中無休働くべき！」「趣味なんかする時間はない！」って、いやいや勘弁してくださいよ？と思ったあなた！私の場合サーフィンやギターなど趣味に没頭しながら専門医取得に向けて勉強させて頂いています。これから長年働く上で、みなさん医師である前に人間ですので、プライベート時間の確保もしっかり考えるべきです。精神科は働く医師の心の健康のためにも医局員皆がお互いのプライベート時間を大切に考えています。

お問い合わせ先

担 当：三好 良英

T E L：0985-85-2969

F A X：0985-85-5475

e-mail：psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

精神科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/>



外科専門研修プログラム

Miyazaki STRONG 宮崎頑張ろう！

募集定員
10名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ



心臓血管外科
教授 中村 都英

ヒトの消化管、肝胆膵、心臓血管、呼吸器、乳腺、内分泌の各臓器に様々な外科的な疾患があり、外科医はメスを持ってその治療にあたります。外科医はヒトの体に傷害を加えることを許された唯一の職業です。常に謙虚に、常に科学的知識を獲得し、常に患者さんに優しくあるべきです。その出発点を担っているのが外科専門医研修です。あまりにも広範な外科分野をいかに的確に効率よく修練するかは多少困難を伴うけど、これこそやりがいある職業の醍醐味、達成したあとの爽快感は格別！

宮崎大学外科専門医研修プログラムは、外科専門医研修を正しく行い、優秀な外科医を育成することを第1に作成されています。旧1外科と旧2外科が合併して形成外科を含めた5分野で外科講座は構成されており、全分野が協力して外科専門医までの教育に責任を持つという共通認識でプログラムを支えています。さらに各分野にはサブスペと呼ばれる外科専門医取得後の2階建て部分の優秀な外科医がいます。

サブスペの専門医取得までしっかり教育いたします。我々が外科医を目指したのはお金でも名誉でもなく、ただ手術で患者さんを治すという単純なことが羨ましかったからです。この単純な動機が起こりにくい時代かもしれませんが、我々も時代に合った感覚を持って、働き方改革も行います(もちろん今は収入もぐっと安定！)。しっかり休養を取ることも外科医には必要です。安心して休養し、安心して勉強する環境を我々は提供いたします。外科を希望する大切な若者、芽のある若者を皆で育てていきます。さあ今こそ“宮崎大学外科専門医プログラム”で実のある人生(またはキャリア?)を勝ち取ろう！

プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、連携施設には宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大学外科専門医研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展中。分野間の連携良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

取得可能な専門医資格および技能

まずは3年で外科専門医取得、サブスペシャリティの専門医に速やかに移行できる外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得

プログラム達成目標

一般外科/麻酔/救急・外傷/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌経験症例350例以上(術者120例以上)をハードル無く確実に取得可能！
外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる横断的知識・技術の習得

主要症例と実績数

心臓胸部大血管外科手術数：155件
ステントグラフト挿入術数：51件
肝胆膵高難度手術数：62件
腹腔鏡肝・膵手術：約30件
肺悪性腫瘍手術数：110件、ロボット支援手術(da Vinci)を開始(2020)
消化管腹腔鏡手術数：95件
食道手術：40件
高度腹部外傷手術：有事即応！



参照：診療科等活動実績 (PDFデータ)

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

外来では、水曜日・金曜日に診察医に陪席し、外来診察・皮膚科的検査・治療を経験する。病棟では、専攻医は指導医のもと担当患者の診察・検査・外用療法・手術手技を習得する。月曜日は回診・病棟及び外来患者さんのカンファレンス・病理カンファレンス・抄読会等行う。

ココに注目！

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。



肝胆膵外科
教授 七島 篤志



宮崎大学外科科学講座のロゴマーク

MIYAZAKI STRONG

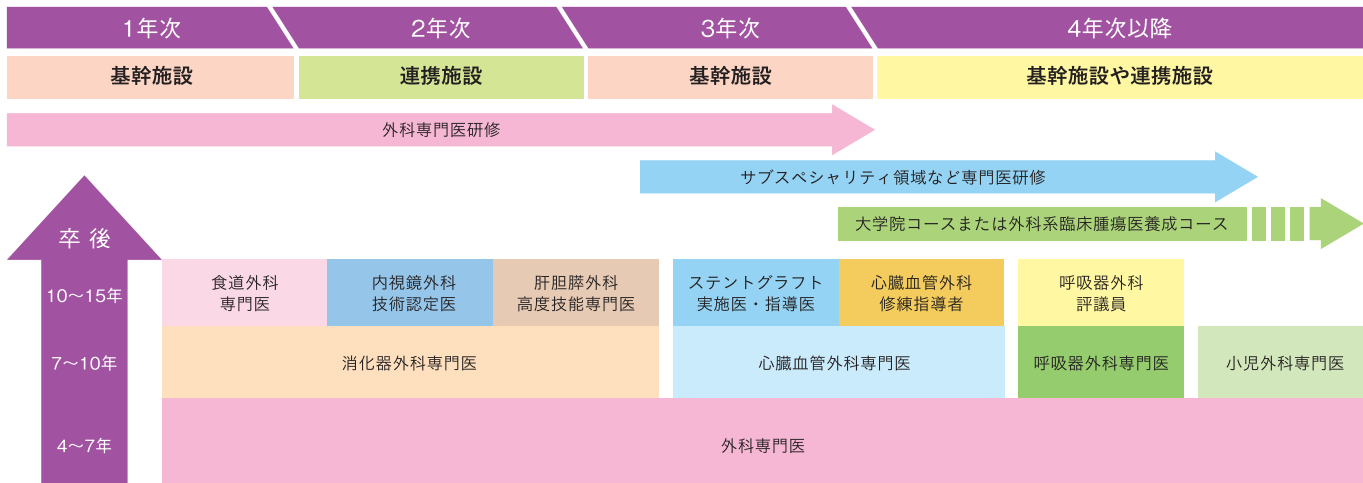
水曜日・木曜日は終日、手術室にて全身麻酔の手術・レーザー治療などを指導医の下で習得する。また、担当患者さんが手術症例でなかった場合は、指導医の下、病棟患者さんの検査・処置等を行う。

連携施設名等

	施設名	統括責任者・副責任者	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	中村 都英 教授、七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、宮崎市立田野病院、済生会日向病院、串間市立病院、潤和会記念病院、泉和会千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、誠友会南部病院、宮崎協病院、健寿会黒木病院、さがら病院宮崎、国立病院機構宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構都城病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

専門研修1年目は基幹施設、2年目連携施設、専門研修3年目は基幹施設での研修を行いますサブスペシャリティも視野に入れた研修を行います。



指導医からのメッセージ

呼吸器・乳腺外科 富田 雅樹

外科学会専門医、そして次のサブスペシャリティの専門医を獲得するための症例数、経験数に問題はありません。地域のマンパワー不足はありますが、逆に一人あたりに経験する数は都会や民間の病院より倍増します。宮崎大学の結束力は固く、活力ある外科医が集まれば大きな力となります。その力になっていただきたい。一緒に頑張りましょう。

心臓血管外科 古川 貢之

宮崎大学外科では、幅広い外科分野をシームレスに研修できることが最大の特徴です。外科では丁寧で合併症を生じない手術が大切ですが、合併症が生じたとき、それを早く察知し、適切に対応することもとても大切です。その上では消化器外科医が循環器合併症を、循環器外科医が消化管合併症を知らねばなりません。当講座では外科合同カンファレンスを毎週行って情報を交換し、時には共同で診療に当たっています。将来外科を希望される人、またそうでない人も当科での研修を通じて患者様により良い治療が実践でき、スキルアップが図れます。

お問い合わせ先

担当：富田 雅樹

T E L : 0985-85-2291
F A X : 0985-85-5563
e-mail : mtomita@med.miyazaki-u.ac.jp

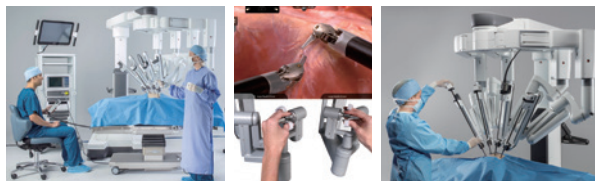
外科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/



呼吸器外科

宮崎県の
次世代呼吸器外科を担うのは君だ！



主要症例と実績数

主な対象疾患は、肺腫瘍(肺癌を含む)、気管・気管支腫瘍、自然気胸、胸壁腫瘍、縦隔腫瘍、横隔膜疾患、胸壁疾患、胸部外傷です。

2019年の手術実績数

症 例	実績数
【呼吸器外科手術数 177 例】	肺悪性疾患 115
	縦隔腫瘍 21

診療科の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺がん、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っております。当科では、科学的根拠のある、経験に裏打ちされた医療を、安全・確実に遂行するよう心がけております。近年の手術では、内視鏡を使用して侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っております。

週間行事

月曜日金曜日は外来日、火曜日木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

卒後6年で外科専門医、卒後8年で呼吸器外科専門医呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。

診療科の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)、内分泌(甲状腺・副甲状腺)、の疾患を取り扱う消化管・内分泌・小児外科と、腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科、の2分野の紹介です。
- 外科全分野を横断的に学んで外科専門医の資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術内容、術後合併症の対応、全身管理、について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。
- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるよう丁寧な指導をこころがけています。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本内分泌甲状腺外科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute care surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術



主要症例と実績数

2019年の手術実績数

症 例	実績数
【肝胆膵外科 116 例】	高難度手術 46
	膵頭十二指腸切除術 27
	肝切除術 47
【食道外科 64 例】	高難度手術 41
【胃・十二指腸手術 60 例】	
【甲状腺・副甲状腺手術 55 例】	
【外傷手術 15 例】	
【下部消化管手術 146 例】	小腸腫瘍・大腸癌 87
	炎症性腸疾患 14
【緊急手術約 50 例】	

小児外科

どの臓器も扱える、こどもの成長に
寄り添う小児外科医を育成します！



主要症例と実績数

2019年の手術実績数

症 例	実績数
鼠径ヘルニア (うち腹腔鏡手術 4 例)	18
精巣固定術	7
胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術	4
先天性小腸閉鎖に対する根治術	2
新生児壊死性腸炎に対する小腸瘻造設	2
肥厚性幽門狭窄症に対する粘膜外幽門筋切開術	2
腹壁破裂に対するサイロ造設術	1
先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下根治術	1
先天性肺気道奇形に対する右下葉切除術	1
その他	

計72例、うち腹腔鏡手術16例、新生児手術6例、緊急手術14例

診療科の紹介

小児外科は先天性疾病(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)、未熟児の消化管穿孔といった新生児・乳児疾患から、虫垂炎や腸重積などの救急疾患、重症心身障害児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を扱えるのが大きな魅力の一つです。また機能的な予後を長期にわたりフォローすることから、診療に携わったこどもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この喜びは小児外科に特有のものです。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、小児外科専門医、小児外科指導医、小児がん認定外科医、新生児認定外科医小児外科は一疾患あたりの症例数が多くないことから、貴重な症例を効率よく経験できるように、県立宮崎病院とも手術症例を共有しながら専門医や指導医を目指す先生の育成を行っています。

診療科の紹介

当科では成人心臓疾患(心臓弁膜症、虚血性心臓病)、大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離症)、末梢動脈疾患、静脈疾患などを対象に診療を行っています。カテーテルの大動脈弁置換術(TAVI)やステントグラフト内挿術などの低侵襲治療にも積極的に取り組んでいますが、宮崎県の最後の砦として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患への対応も求められ、最善の治療が提供できるようチーム一丸となって日々の診療に当たっています。県内の関連病院(県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院)と修練施設群(宮崎大学医学部心臓血管外科修練施設群)を形成し、計10名の心臓血管外科専門医を配置し、豊富な手術症例数を確保しています。さらなるスキルアップのため国内、国外high volume centerへの留学も行っています。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医、循環器専門医、脈管専門医、ステントグラフト実施医および指導医、TAVI実施医および指導医



主要症例と実績数

計251例の手術を実施しています。修練施設群内の過去3年の年間平均総手術数は915例です。

2019年の手術実績数

症 例	実績数
成人心臓大血管手術	168
胸部大動脈ステントグラフト内挿術 18例	
経皮的動脈弁植え込み術 31例を含む	
小児心臓手術	18
小児人工心肺使用手術 8 例	
腹部大動脈・末梢血管手術など	65

消化器外科

有事即應！臨機応変に対応できる
消化器外科医を育てます！

心臓血管外科

人を思いやる温かいハートとハンドで、
循環器疾患に立ち向かおう

形成外科専門研修プログラム

今がチャンス！
宮崎で形成外科専門医を取得しよう！

募集定員
2名

研修期間
4年

責任者からのメッセージ

形成外科
教授 伊東 大



宮崎県には形成外科専門医が足りません。
2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医を募集します。都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センターが連携施設です。また、東京女子医大病院と鹿児島市立病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、指導医のもと実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

当科では、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- ① 包括的な体表外科**：先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- ② 多種多彩な創傷に対応する外科的治療**：「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- ③ 微小血管吻合技術を用いた再建手術**：外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- ④ 熱傷治療施設としての地域貢献**：これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療に力を入れてきました。今後は当科も協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献していきます。熱傷専門医の取得も可能です。
- ⑤ 研究への取り組み**：脂肪幹細胞などの再生医療分野や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授、他1名	約350例
連携施設	都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センター		
他プログラムの基幹施設	鹿児島市立病院、東京女子医大病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構形成外科専門医
- 日本形成外科学会認定の皮膚腫瘍外科特定分野指導医
小児形成外科分野指導医
再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本創傷外科学会認定の創傷外科専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会認定の頭蓋顎顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定の熱傷専門医

プログラム達成目標

- ① 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- ② 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- ③ 4年間の手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例と実績数

主科別手術件数

診療科	2018年	2019年
形成外科	205	258
耳鼻咽喉科	34	33
歯科口腔外科	18	30
救急科	5	8
整形外科	10	10
外科	22	7
皮膚科	10	2
脳外科	7	3
産婦人科	1	0
合計	312例	351例

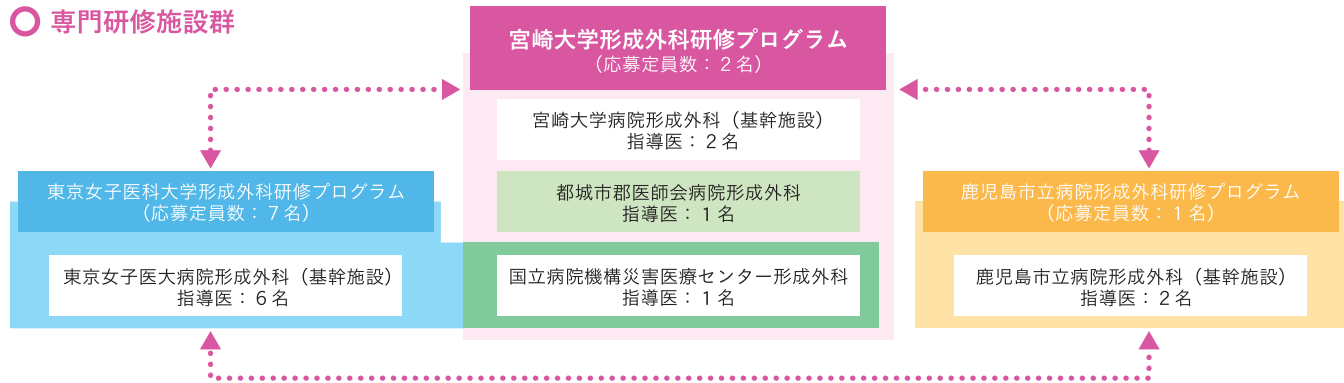
他科症例の殆どが再建手術

症例数は年々増加中！
他科とのコラボ手術が満載です！

専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、2つの連携施設、及び2つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能とな

専門研修施設群



【ローテーションの一例】

※専攻医は最低1年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。

専門研修1年目	2年目	3年目	4年目
宮崎大学医学部附属病院	鹿児島市立病院	都城市郡医師会病院	国立病院機構災害医療センター

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外 来	外 来 中央手術	中央手術	外 来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファレンス イブニングカンファ 回診	術後カンファレンス イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師3名で診療にあたっております。症例数は2018年の1年間で300例以上にのぼり、約1/3が他科との連携症例で、残りの2/3が形成外科単独症例となっており、昨年と比較し激増しております。つまり当科の特徴は、一人当たりの症例数が非常に多い。そのため経験値が急上昇。他科からの紹介症例が多く症例が多様。いろいろな種類の手術が経験できます。さらに形成外科は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。このことは非常に大切なことで有用なことです。外科学講座は非常にコミュニケーションがとりやすく、垣根がありません。風通しの良い職場だと思います。そのため、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決され、さらに外科知識が豊富に吸収できます。是非見学にきてください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担 当：伊東 大

T E L：0985-85-9786
F A X：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



Orthopaedics is My Life!
「よく遊ぶよく遊べ」

整形外科専門研修プログラム

募集定員
6名

研修期間
4年



宮崎の自然や人は最高です。
また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

責任者からの
メッセージ



整形外科
教授 帖佐 悦男

プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法的主治医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、スポーツ医学における帯同ドクター・スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得を推奨しています。
- 女性医師における職務体系は、公務員と同等以上の産休・育休など取得でき、子育てしやすい環境になっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	帖佐 悦男 教授、他12名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橘病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

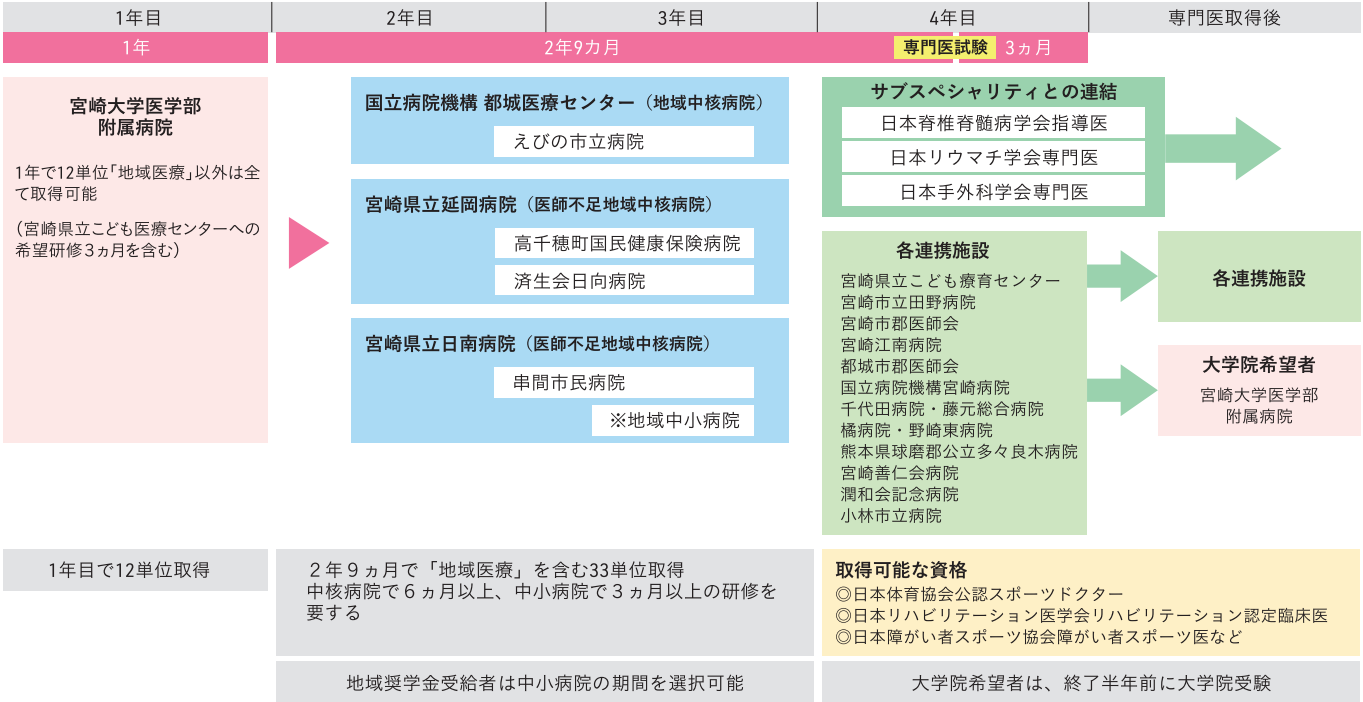
プログラム達成目標

宮崎大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。整形外科は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化型社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。現在、宮崎大学医学部附属病院整形外科には、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、および研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リウマチ、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった21におよぶ施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことを目標としています。

主要症例と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靱帯損傷に対する靱帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	手術	外来・抄読会
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術・術前カンファ	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリュー1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られるところです。今まで歩けなかった方が歩けるようになったり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティにも挑戦できますし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれば嬉しいです。一生の仕事になると 생각합니다。

ココに注目！

当科では、なでしこジャパンやラグビーワールドカップ、国体の帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っています。また学童期の運動器検診、少年野球検診、ロコモティブシンドロームに関する事業にも力を入れており、子供から高齢者までの運動器のケアを行っています。

先輩からのメッセージ



大江整形外科病院 近藤 梨紗

私は、H16年に東京女子医大を卒業後、地元の宮崎に戻り、卒後臨床研修を経て、当医局に入局しました。医師3年目に、同じ卒後臨床研修医の夫と結婚し、妊娠しましたので、初期にしっかりとした研修が受けられませんでした。1年間の育休後に、職場復帰させていただきました。復帰時は、整形外科医としては何も分からない状態で、不安もありましたが、医局の先生方からしっかり指導していただき、関連病院での研修を積み、整形外科専門医を取得することができました。子育てをしながらの常勤での勤務は、時には過酷もありましたが、当医局は進路についても希望を考慮していただき、結婚、出産後も仕事を続けることができております。現在は実家の病院を継承し、今後は生まれ育った宮崎の地域医療に貢献し続けていきたいと考えています。整形外科は力仕事、男性の職場というイメージが強いですが、当医局は子育てをしながら働く女性医師も多いですし、医局の先生方も子育てと仕事の両立に非常に理解、協力をして下さるので、女性でも働きやすい職場です。また大学病院には、託児所も併設されておりますので、環境も整っています。当医局では、バリバリ手術される女医さんから、時短勤務で働かれる女医さんまで、働き方は多様ですので、女性だから、整形外科はちょっと、と二の足を踏んでいる方は、是非一度見学、研修に来てください。

お問い合わせ先

担当：坂本 武郎

T E L：0985-85-0986

F A X：0985-84-2931

e-mail：seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

整形外科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/>





責任者からの
メッセージ

リハビリテーション科
副科長 荒川 英樹



宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専攻医養成プログラムは、地方の立地を生かし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さんの多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではかないませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の7つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

- 1

ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。
- 2

一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。
- 3

大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ/ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格
および技能

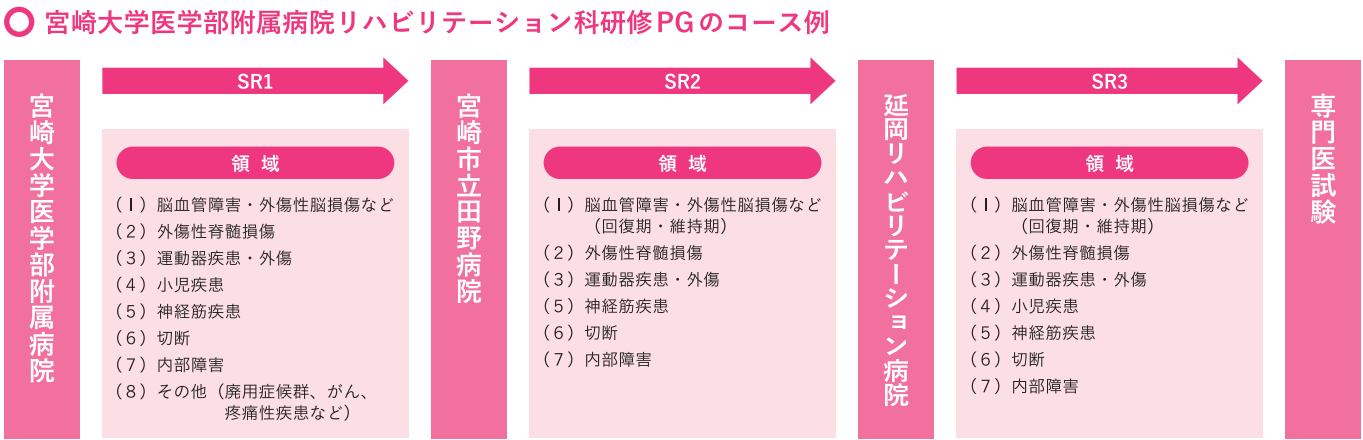
リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 副科長、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	宮崎市立田野病院、延岡リハビリテーション病院、日南市立中部病院		
特別連携施設	宮崎県立こども療育センター、国立病院機構都城医療センター、宮崎江南病院、野崎東病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決められます。



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- 1

脳血管障害、外傷性脳損傷など
- 2

外傷性脊髄
- 3

運動器疾患、外傷
- 4

小児疾患
- 5

神経筋疾患
- 6

切断
- 7

内部障害
- 8

その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会（月1回） 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング（月1回） 他科合同カンファ（月1回）	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会（月1回）	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目！

広がるリハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺：ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開設され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に係る疾患、障害、病態を扱う領域になっています。

更に東京オリンピック・パラリンピックも決定し、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

お問い合わせ先

担当：荒川 英樹

T E L：0985-85-0986
F A X：0985-84-2931
e-mail：rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP



http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/

募集定員
6名研修期間
3年

連携施設名等

	施設名	指導医	分娩数（2019年度）
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	川越 靖之 科長、他13名	279
連 携 施 設	県立延岡病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構都城医療センター、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、串間市民病院、とえだウィメンズクリニック、鹿児島市立病院、船橋中央病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医 母体保護法指定医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医

プログラム達成目標

日本産科婦人科学会専門医習得に必要な症例数は以下の通りで、このプログラムで必要な症例数は確保可能です。

症 例	必要症例数
経陰分娩	100
帝王切開術執刀	30
帝王切開術助手	20
前置胎盤/常位胎盤早期剥離症例執刀/助手	5
子宮内容除去術/子宮内膜全面搔爬を伴う手術執刀	10
腔式手術執刀	10
子宮附属器摘出術執刀	10
単純子宮全摘術執刀	10
浸潤がん手術執刀/助手	5
腹腔鏡下手術	15
不妊症治療担当/助手	5
生殖補助医療における採卵・胚移植術者/助手/見学者	5
思春期/更年期女性症例	5
経口避妊薬・低容量エストロゲン・プロゲステロン初回処方時の担当医/助手	5

責任者からの
メッセージ

産科婦人科

科長 川越 靖之



当科では臨床医かつ研究者として通用する人材の育成が目標です。少数の医師で構成される地域医療では短期間に多くのかつ深く濃厚な臨床経験が可能です。連携施設には数多くのバラエティに富んだ県外の施設と連携しています。またネットワークを利用した全国の施設との週1回のカンファレンス、米国、カナダへの留学、全国学会の主催など数々イベントを通し“臨床と研究に強い”医師の養成を目指しています。育児との両立も可能で多数の女性医師が現在、活躍中です。症例について一緒に悩み、考え臨床の喜びを共有できる日が来ることを心待ちにしています。

プログラムの特徴

専攻医 1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医 2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。大学病院で比較的症例の少ない内視鏡手術や不妊症の分野は関連施設で経験できるようプログラムは作成され、3年間で専攻医申請に十分な症例が得られます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。専攻医 4年目には産婦人科専門医を受験し資格取得が可能です。

主要症例と実績数

	症 例	実績数	症 例	実績数		症 例	実績数
産 科	経陰分娩	109	産科合併症		婦 人 科	広汎子宮全摘術	13
	帝王切開術	135	・双胎 MD	15		子宮体癌手術	18
	・選択的帝王切開術	56	DD	13		卵巣癌手術	17
	・緊急帝王切開術	79	・品胎	2		悪性腫瘍以外の子宮全摘術	20
	合併症妊娠		・妊娠高血圧症候群	9		腹腔鏡手術	45
	・妊娠糖尿病	43	・前置胎盤	5	新 生 児	腔式手術	27
	・糖尿病合併妊娠 type1	6	・癒着胎盤	1		超低出生体重児	30
	type2	5	・常位胎盤早期剥離	1		極低出生体重児	13
	・甲状腺疾患	25	・胎児発育不全	13		低出生体重児	67
	・血液疾患	3	・胎児心奇形	10		重症新生児仮死	1
	・中枢神経系疾患	9	・胎児消化管閉鎖	3		先天奇形	16
	・心疾患	10	・胎児髄膜瘤	3		先天性心疾患	20

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
朝	関連病院合同症例カンファレンス	新生児科症例カンファレンス	リサーチカンファ研究結果発表会	産科症例カンファレンス	婦人科症例カンファレンス
午前	病 棟	手術／病棟	病 棟	手術／病棟	病 棟
午後	回 診	手術／病棟	病 棟	手術／病棟	病 棟
夕方			病理部門合同カンファレンス		

指導医からのメッセージ

総合周産期母子医療センター 土井 宏太郎
副センター長

産婦人科にとても興味を持ってくれた初期研修医の先生からいただいた感想です。「産婦人科の研修はとても充実していた。日々楽しかったし、いろいろ分かると凄く面白くなってきた」「でも、いざ専門職にするとしたら、自分がついていくことができるのだろうか不安です。」まったく心配いりません。なぜならば、実は、宮崎の産婦人科医療は、あまり多い人数ではありませんし、凄く先進的な医療技術や知識を持ち合わせているわけでもありません。日々、謙虚に自分たちができうことを全うしていくことで地域医療に貢献し、そしてそれを積み重ね、形として世界に発信できるよう努めています。若手の先生たちには、より良い雰囲気の中で、皆が医師としての力をしっかり身につけ、それを存分に発揮してもらいたいと思っています。初期研修医の先生方、故郷が宮崎の方も、縁あって宮崎で研修中の方も、これからずっと人の繋がりを大切にしてほしいと思っています。そして、ぜひ、近い将来、宮崎で一緒に働くことができればと願っています。宮崎大学産婦人科は、いつでも大歓迎お待ちしております。

教育医長 後藤 智子

産婦人科は忙しくて大変・・・というイメージが強いですが、新たな命の誕生に立ち会えることにとても喜びを感じ、私たちも毎日奮闘しています。宮崎の女性の健康を心身ともに増進させ、病気を予防・治療にあたることはとてもやりがいがあります。ひとくりに産婦人科といっても様々な分野がありますので、幅広い分野の中で自分のやりたいことに向かい進めるようにサポートしていきます。また女性医師も多く在籍しています。女性医師が増えてきた今、多様なロールモデルの存在も当科の魅力の一つだと思います。宮崎の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう。

お問い合わせ先

担 当：川越 靖之

T E L：0985-85-0988

F A X：0985-85-6149

e-mail：yasuyuki_kawagoe@med.miyazaki-u.ac.jp

先輩からのメッセージ

専攻医 2年目 長島 陽子

産婦人科＝「お産」のイメージが強いと思いますが、周産期の他にも婦人科腫瘍や生殖医学、女性医学など取り扱う分野は多岐に渡ります。分野によって内科的・外科的要素のどちらが強いかは様々ですので、今何をしたいのか分からない人でもきっと将来自分にあった専門分野が見つかります。また手術時間は長すぎず、体力に自信が無い方でもおすすめです。自分も他科と迷った過去がありますが、「妊婦さんを診ることが出来る」というのは将来医師として働く上で一つの強みになるかと思います。将来同じ職場で働ける事を心待ちにしております。

専攻医 2年目 菅野 知佳

私は都内で初期研修をしたため専攻医先は悩みましたが、宮崎に戻ってきてよかったと思っています。NICUを産婦人科医が管理している新生児の管理方法を、専攻医のうちに産婦人科医の素地とし得る環境は、全国的に見て恵まれています。少しでも産婦人科に興味のある方はいつでも気軽に見学・実習に来て下さい！

ココに注目！

産婦人科医局長 山田 直史

宮崎大学の総合周産期母子医療センターの大きな特色として、産婦人科医として新生児分野を担当していることが挙げられます。妊娠～分娩～新生児期を一連として知識・技術を習得することで、周産期を総合的に扱うスペシャリストとして活躍できるようになります。そして何より産婦人科、小児科、小児外科がチームとなって、早産や合併症のあるお子さんの退院に向けて、協力して一生懸命頑張っています。是非見学に来て下さい、お待ちしております。



産婦人科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/

眼科専門研修プログラム

地域に寄り添いながら眼科学を楽しみ、
そして究める

募集定員
4名

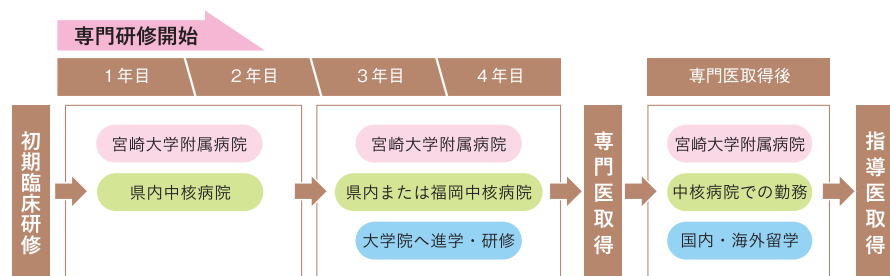
研修期間
4年

連携施設名等

	施設名	指導医	内眼手術（年間）	外眼手術（年間）	レーザー手術（年間）
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	池田 康博 教授、他5名	943	288	83
連携施設 （指導医数）	県立宮崎病院（1）、県立日南病院（0）、宮崎中央眼科病院（1）、宮田眼科病院（1）、JCHO九州病院（3）、麻生飯塚病院（1）				

専門医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修期間中、1年目、あるいは2年目のどちらかを専門研修基幹施設である宮崎大学医学部附属病院で研修します。1、2年目は宮崎大学医学部附属病院、連携する県内の中核病院のいずれかで研修を行い、3年目以降は宮崎大学医学部附属病院、県内の中核病院、もしくは福岡県の中核病院で研修します。



取得可能な専門医資格および技能

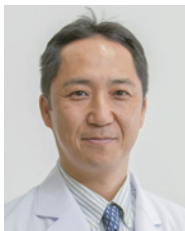
眼科専門医 神経眼科相談医 眼科PDT認定医

プログラム達成目標

- 1 医師としての基本姿勢・態度、眼科6領域(角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体・ぶどう膜、屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器)、他科との連携に関する専門知識。
- 2 検査、診断、処置、手術、手術管理、疾患の治療・管理に関する専門技能。
- 3 学問的姿勢。
- 4 医師としての倫理性、社会性を身につける。

責任者からのメッセージ

眼科
教授 池田 康博



宮崎大学医学部眼科学教室は、1976年に創設された比較的若い教室です。医局員は約20名でコンパクトですが、教授・准教授から研修

医までがいつも顔を合わせながら、アットホームな雰囲気の中で日々の診療・教育に励んでいます。広大な宮崎県の眼科医療を当教室が支えています。白内障や緑内障のようなメジャーな疾患だけでなく、小児眼科、瞼や涙道の疾患などといったあらゆる眼疾患に対し、高いレベルを保ちながら診断から治療までを実践しています。眼科学を楽しめる環境を整備することで、若い先生には少しでも早く一人前に育ってもらい、宮崎県の眼科医療を支えて欲しいと思っています。

プログラムの特徴

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。宮崎大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

- 1 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
- 2 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
- 3 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

週間スケジュール（宮崎大学医学部附属病院の例）

時間	月	火	水	木	金
8:20 ~ 9:20		病棟回診		病棟回診	
8:30 ~ 17:15	外来診療 手術業務	外来診療	外来診療 手術業務	外来診療	外来診療 手術業務
17:30 ~ 18:30		症例カンファレンス	抄読会	症例カンファレンス	

指導医からのメッセージ



助教 杉本 貴子

当科は、小さな医局ならではのアットホームな雰囲気、個々の事情、希望に応じた研修ができるようになっていきます。そのため、出産育児をしながら専門医を取得し、第一線で働いている女性医師がたくさんおります。

眼科医として働くためには、時間をかけてでも‘ちゃんと’専門医を取得することが重要です。幅広い眼科疾患を偏りなく学ぶことができ、長く楽しく、自信を持って働き続けるための研修ができると思います。

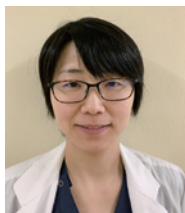
先輩からのメッセージ



菅井 洸

父が眼科医であることから眼科を長めにローテートしましたが、眼科は診察が特殊で、最初は所見が

取れずただただ苦痛で全く面白みを感じることができませんでした。しかし豚眼を使った白内障手術の練習を通して、漫然と見学していた手術手技のひとつひとつに、解剖や生理学に基づいた意図や理由があることに気付きました。そうしている間に徐々に患者さんの診察もできるようになり、眼科学の魅力にどんどん引き込まれて入局を決めました。手術見学は今もとても楽しく、日々の業務の合間にも時間があれば先輩の手術を見に行くようにしています。また今では自分でも執刀するようになり、見学だけでは気付かなかった再発見があり、日々楽しく勉強できています。これから眼科の仕事を一生涯のものとしてやっていこうと思います。



山添 早織

私は、初期研修医の最初のころは漠然と内科を志望していましたが、初期研修医としてローテートで

いろいろな科を回るうちに、自分は手を動かすことが好きなので手技が多い科の方が良いと思うようになりました。そうして眼科を回ってみると、失礼ながら学生時代には特に興味を持っていなかった手術にも興味を持つようになり、眼という器官は外から見るができるため、疾患などについて実際に見て判断できるということに魅力を感じました。また、見るということは患者さんのQOLに直結しており、外来や病棟で先生方が患者さんに感謝されている姿を多く目にし、とてもやりがいのある仕事だと感じました。眼科は外科的でもあり、内科的でもあると思うので、外科系を考えている方も、内科系を考えている方も、どの科にしようか迷っているような方も、ぜひ眼科を回ってみてください！



堀之内 みどり

学生や研修医の頃は実習や研修先でまわる科がどれも新鮮で楽しかったですが、私は将来的に子供の

疾患に関わる診療科へ進みたいと考えていました。他の診療科とも大変迷いましたが、眼科は未熟児から高齢者まで人の一生に関わる科であり、QOLに深く関わってくるため非常にやりがいがあります。興味を持たれている方はぜひ一度見学にいらしてください！

お問い合わせ先

担当：杉田 直大

T E L : 0985-85-2806
F A X : 0985-84-2065

e-mail : naohiro_sugita@med.miyazaki-u.ac.jp

眼科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/ophtha/>

